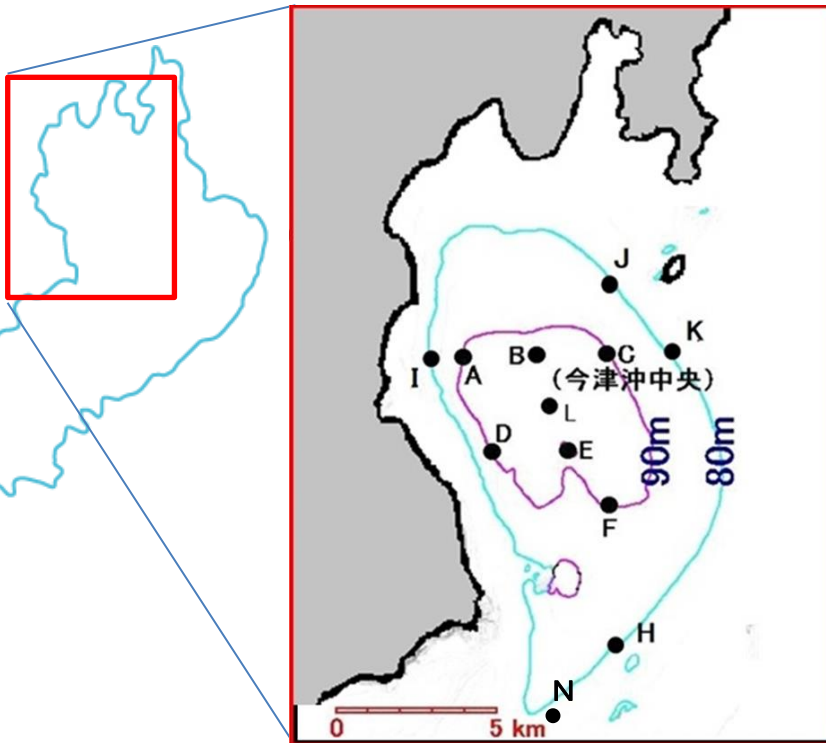


北湖底層DO調査結果（速報）

すいおんやくそう

北湖では、例年春季から初冬にかけて水温躍層が形成され、上層と下層の水の対流がなくなるため、底層の**溶存酸素(DO)**が低下し、晩秋に最も低くなります。その後、冬季に湖水の全層循環が起こり、底層まで酸素が供給されDOが回復します。滋賀県では、北湖の底層DOの状況を把握するモニタリング調査を実施していることから、その結果をお知らせします。

調査地点



今津沖第一湖盆中央(水深90m)
およびその周囲の調査地点

C、F、L点: 定期調査

A、B、C、D、E、F、L: 詳細調査

K、H、I、J、N(水深80m): 詳細調査

湖底直上1mを調査

※底層DOの状況に応じて、地点数等を変更することがあります。

令和6年度の北湖底層DO調査結果（速報）

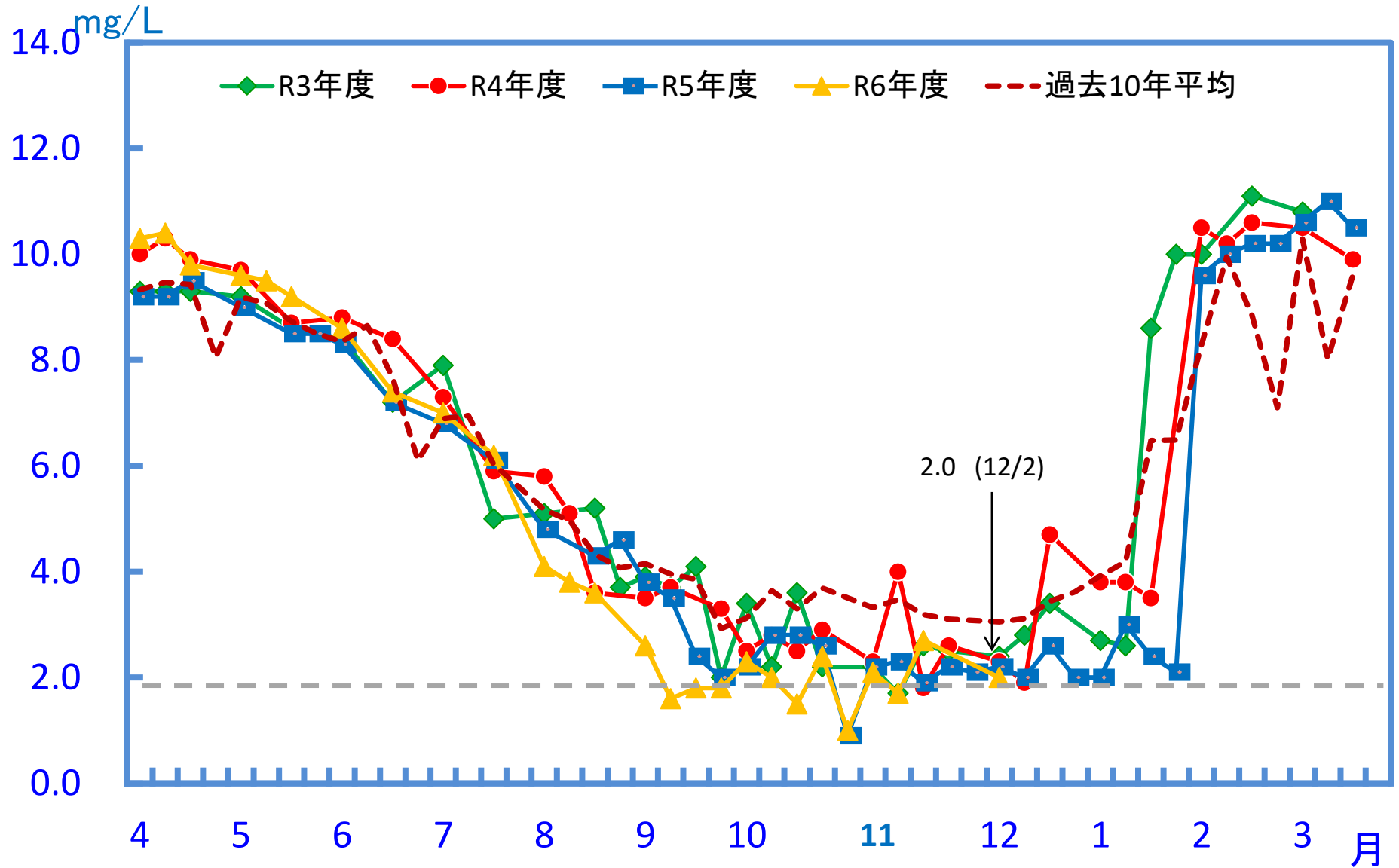
単位：mg/L

調査日 調査地点	9月				10月						11月					12月
	9/3	9/9	9/17	9/24	10/1	10/7	10/15	10/21	10/23	10/28	11/5	11/11	11/12	11/20	11/27	12/2
A	1.2	1.7	1.0	1.7		1.6	欠測 (強風)		<0.5					3.4		
B		1.2							0.8							
C(今津沖中央)	2.6	1.6	1.8	1.8	2.3	2.0	1.5	2.4	1.0	1.0	2.1	1.7		2.7		2.0
D	4.2	4.4	3.6	3.5		0.6	<0.5		2.5					3.7		
E		0.8														
F	2.8	<0.5	<0.5	1.7	2.2	1.4	1.0		0.8	0.9	2.0			0.9	2.5	2.4
L(第一湖盆中央)	1.8	<0.5	<0.5	0.9	1.5	<0.5	<0.5		0.7		0.6			1.7		1.9
K(水深約80m)		3.2		5.1						3.2			2.0		2.8	
H(水深約80m)		2.3		3.1		1.4			2.8	3.5			3.7		3.0	
I(水深約80m)										2.9			3.3			
J(水深約80m)										2.4			4.6		1.8	
N(水深約80m)						2.0									3.8	
Q(水深約80m)		2.1		6.0		3.9			3.2	3.7			1.7		3.0	
S(水深約70m)															2.9	
V(水深約70m)													4.0			

注1：表中の黄色部分は貧酸素状態（2.0mg/L未満）、オレンジ部分は無酸素状態（0.5mg/L未満）の結果を示します。

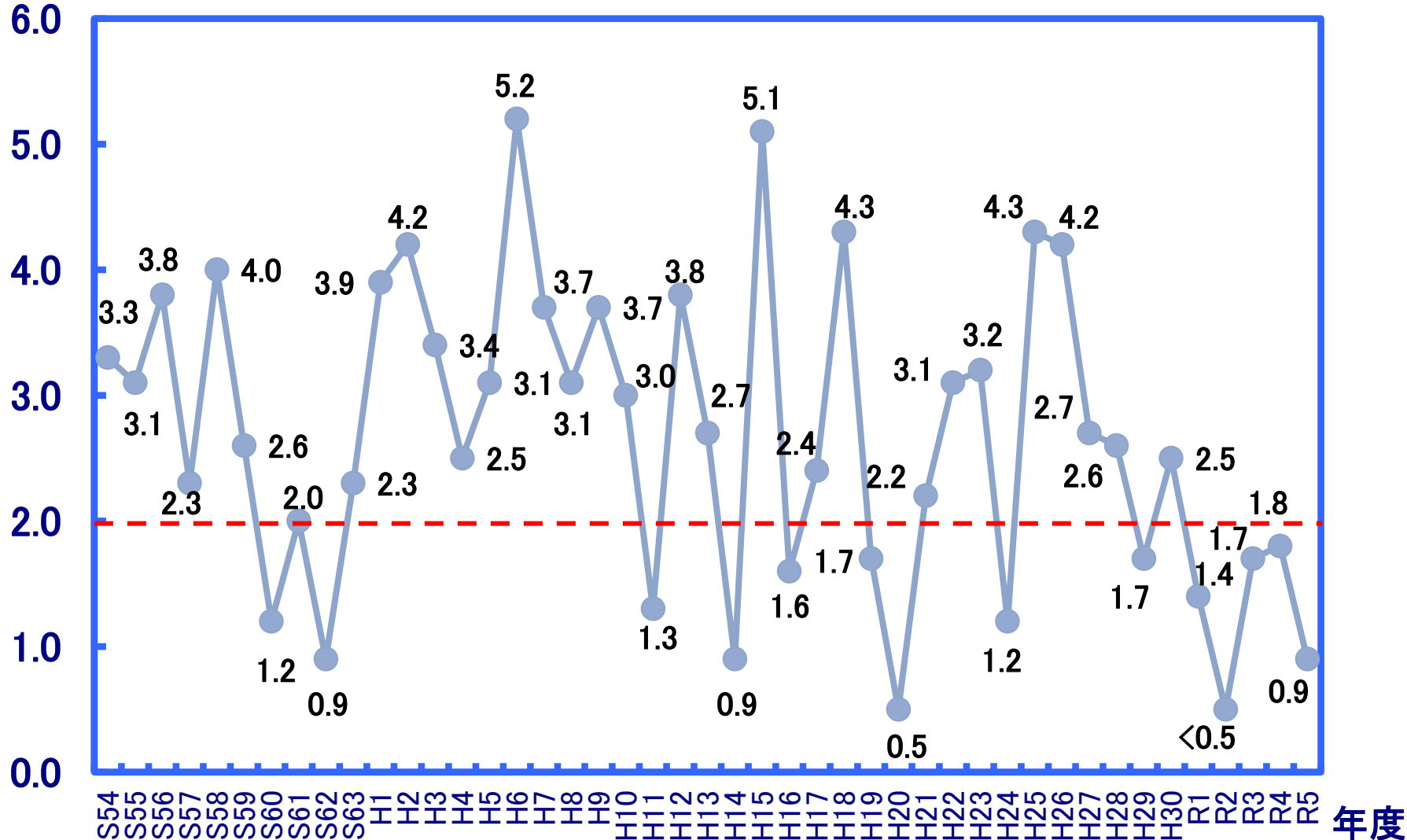
注2：風などの気象条件や底層DOの状況に応じて、地点数や範囲を変更することがあります。

C点における底層DOの経月変動



C点における底層DOの年度最低値

(mg/L)



年度

※H18以前は月2回、H19以降は月3～4回の調査頻度

データ: 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター